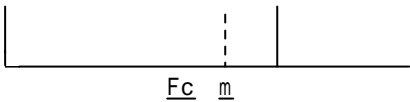
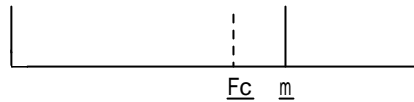


建築工事標準仕様書 JASS5N 原子力発電所施設における鉄筋コンクリート工事
正誤表

頁	誤	正																																				
89	(10行目) ……劣化が生じないことが <u>予定</u> できる……	……劣化が生じないことが <u>予想</u> できる……																																				
100	(解4.2)式 $E = 33.5 \times K_1 \times K_2 \times \left(\frac{F_c}{2.4}\right)^2 \times \left(\frac{F_c}{20}\right)^{1/3}$	(解4.2)式 $E = 33.5 \times K_1 \times K_2 \times \left(\frac{F_c}{2.4}\right)^2 \times \left(\frac{F_c}{60}\right)^{1/3}$																																				
102	(解説図3.5 上から3つ目の図) 																																					
145	(解説表5.7 タイトル) (フライアッシュ <u>B</u> 種・低熱ポルトランドセメント)	(フライアッシュ <u>C</u> 種・低熱ポルトランドセメント)																																				
222	(表10.1〔注〕(4)) (4) て用いる副帯筋や……	(4) 帯筋，あばら筋では，末端部の折曲げ角度を135°または180°とし、折曲げ角度90°は帯筋と併用して用いる副帯筋や……																																				
264	(空白部)	下表を追加 [参考] (解12.1)式中の係数， の測定値 <table border="1" data-bbox="427 1332 1241 1675"> <thead> <tr> <th>W / C (%)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>単位セメント量 (kg)</th> <th>練上がり温度実測値 ()</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">61</td> <td rowspan="3">18</td> <td>306</td> <td>28.0</td> <td rowspan="3">0.4</td> <td rowspan="3">1.8</td> </tr> <tr> <td>306</td> <td>30.5</td> </tr> <tr> <td>306</td> <td>27.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">15</td> <td>296</td> <td>28.1</td> <td rowspan="2">1.0</td> <td rowspan="2">2.7</td> </tr> <tr> <td>296</td> <td>28.3</td> </tr> <tr> <td>49</td> <td>12</td> <td>372</td> <td>28.2</td> <td>0.5</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>43</td> <td>15</td> <td>394</td> <td>31.2</td> <td>1.8</td> <td>3.4</td> </tr> </tbody> </table>	W / C (%)	スランブ (cm)	単位セメント量 (kg)	練上がり温度実測値 ()			61	18	306	28.0	0.4	1.8	306	30.5	306	27.8	61	15	296	28.1	1.0	2.7	296	28.3	49	12	372	28.2	0.5	3.0	43	15	394	31.2	1.8	3.4
W / C (%)	スランブ (cm)	単位セメント量 (kg)	練上がり温度実測値 ()																																			
61	18	306	28.0	0.4	1.8																																	
		306	30.5																																			
		306	27.8																																			
61	15	296	28.1	1.0	2.7																																	
		296	28.3																																			
49	12	372	28.2	0.5	3.0																																	
43	15	394	31.2	1.8	3.4																																	
343	(表14.8〔注〕(1)後半) ……試験結果の平均値が， <u>養生温度補正強度</u> 以上であれば合格としてよい．	……試験結果の平均値が， <u>養生温度補正強度</u> ， <u>構造体補正強度</u> または <u>気温補正強度</u> 以上であれば合格としてよい．																																				
366	(6．結果の計算) 乾燥単位容積重量 = $\frac{\text{供試体の乾燥状態の質量}}{\text{乾燥前の質量} - \text{水中質量}}$	乾燥単位容積質量 = $\frac{\text{供試体の乾燥状態の質量}}{\text{乾燥前の質量} - \text{水中質量}}$																																				